



荒木栄邦会計事務所
税理士 荒木栄邦 様

- ・兵庫県伊丹市
- ・2021年5月 当協議会入会
- ・2021年5月 推進協議会アカデミー金融・財務コース入学

■ 一から順序だてて学べる

Q アカデミー入学のきっかけを教えてください。

以前財務分析の講師の依頼があり財務は独自で勉強していましたが、知り合いの先生にF+prusのことなどを教えてもらいました。

その中、財務知識をアカデミーで1から順序だてて学べると知り入学しました。

私は、金融機関との懸け橋になりたいと思い、F+prusを顧問先に提供していくことへの価値を感じたことも入学理由の1つです。

■ アカデミーは非常に役立った

Q 金融・財務コースの受講をされていかがでしたか？

補助金同様、認定支援機関業務は会計事務所必須の課題と認識しています。

実務に活用できる知識やコンテンツを提供いただいているので今後も財務支援を取り組んで行こうと思います。

■ 何よりも優先課題で

Q 動画はどんなタイミングで視聴されていましたか？

時間を作るというよりは早く受講したいという意欲から、通常業務に差し支えない範囲で動画を視聴しました。

またYouTubeで視聴するため、再生速度を2倍速で視聴し何よりも優先課題で取り組みました。

■ 金融機関の目線で見ると

Q 「新たな気づき」や「実践したこと」「顧問先の反応など」の近況をお聞かせください。

金融機関の目線で財務書評を見ることが出来るようになったことは大きな成果だと思います。今はF+prusを触って新たな提案を模索中です。

■ 金融機関との面談に同席

Q 財務支援の内容をお聞かせください。

顧問先に対して決算後、金融機関との面談に同席させていただくようにお願いしています。

今までおこなったことのない取り組みですが、アカデミーを受けたことで相手の気持ちを知ることができ、同席に対して恐怖感が無くなりました。

まだ実績はありませんが、来年一年間の私の行動目標です。

■ 視覚的に改善案を提案する

Q 企業財務診断報告書を提案した結果、いかがでしたか？

財務格付「S」の評価の企業に、自己資本比率や債務償還年数、金融機関の目の付け所などご説明したところ、みるみる目がほころんで安堵していく様子が見て取れました。

コロナ融資もあり資金繰りは潤沢で、何も心配されていないと思っていましたが、経営者としてかなりの重圧に耐えていたんだと感じました。

今まで口頭で説明していましたが、企業財務診断報告書を通して目に見える形でご案内出来たことは非常に良かったと思います。

新米社長の不安を少しでも和らげることが出来たことに、私自身も顧問税理士として喜びを感じることが出来ました。

■ 事務所として取り組んでいく

Q 今後事務所として財務コンサルティングをどのように展開される予定かをお聞かせください。

企業財務診断報告書は全ての顧問先に提案していこうと思います。

これを足掛かりに金融機関との折衝、借り換えの提案などで報酬につなげていけると考えています。

また経営力向上計画を通じた税制特例、補助金申請なども資金繰り支援を土台に自信をもって提案できると思います。